

広報

にしあいづ

2

2023
No.772



もくじ - Contents -

P2 特集 **新たな「仕事」づくりで広がる「可能性」**

P4 まちの話題

無火災祈願祭・消防出初式、野沢初市、百歳賀寿

令和4年度に実施した主な取り組み

11.12[土]

NPO法人コミュニティリンク デジタル×防災勉強会

NPO法人コミュニティリンクは、高度なICTの技能や知識を活用して、地域が抱える課題の解決に向けたプロジェクトを推進する団体です。昨年8月の大雨による災害などを事例に、デジタル技術を活用してどのような防災に取り組んでいくか、「防災のこれからを考える」をテーマとした勉強会をにぎわい番所ぷらっとで開催しました。勉強会には、被災した農家や町関係者も参加し、意見交換などを通して理解を深めました。



11.18[金]
→ 11.19[土]

パナソニック(株) 西会津中学校 × Panasonic ILLUMME体験会

STEM教育の一環として、パナソニック(株)が開発中の最新技術「ILLUMME」を使った体験会を西会津中学校で開催しました。生徒の皆さんが、2日間にわたってプログラミング教材で光を操り、自分たちのイメージを形にしていく作品づくりを行いました。



12.5[月]
→ 12.7[水]

電通(株)

フィールドワーク・ヒアリング・ハッカソン

広告メディア関連会社の電通(株)と筑波大学発のベンチャー企業である(株)アラレグミは、上記の日程で町に滞在しながら、町内の施設などでフィールド

12.9[金]
→ 12.11[日]

(株)アラレグミ

ワークを行ったり、町内事業者や関係者へのヒアリングを実施したりしながら、ハッカソンと呼ばれる開発作業などを行いました。

用語解説

STEM教育=科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。
フィールドワーク=ある調査対象について研究をする際に、そのテーマに即した場所を実際に訪れたり、関係者に聞き取りやアンケートを行ったりする調査方法の1つ。

ヒアリング=相手の話を聞いて情報を収集すること。聞き取り。
ハッカソン=ハックとマラソンを組み合わせた造語。プログラマーや設計者などのソフトウェア開発者が、短期間に集中的に開発作業を行うイベントのこと。



新たな「仕事」づくりで

広がる「可能性」

町では、最大の課題である「人口減少」に対し、移住者や定住者の増加などに向けたさまざまな取り組みを行っています。

今月号では、その課題解決の1つとして、町デジタル戦略に基づいて実施している「首都圏等企業関係構築事業」について紹介します。

西会津町を知ってもらい関係を築いていく

本町は、人口減少と少子高齢化が急速に進み、産業や観光の振興、移住定住の促進などによる地域の活性化が課題となっています。

町では、課題解決のための移住定住施策の1つに、「働く場の確保・創出」を目的とした、町外企業の町への移転に向けた取り組みを進めています。

従来の企業移転に向けた取り組みといえば、町内施設や通信環境といった環境整備が主な取り組みでした。町ではそれらだけでなく、コロナ禍によって変化する働き方を見据えた企業移転に向け、町の魅力や資源、企業移転の利点などをオンライン説明会やSNSで積極的に情報発信してきました。これらを経て、令和3年度からは次のような事業を実施して、企業との継続した関係構築に取り組んでいます。

【令和3年度】西会津町視察交流ツアー

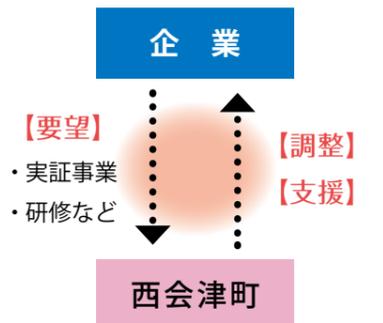
説明会などを経て視察希望のあった企業を対象に1泊2日の「西会津町視察交流ツアー」を令和3年度に開催し、ICTや広告メディア関連会社など計10社が参加しました。ツアーは企業のニーズ(需要)に応じて計画を立て、町の施設や取り組みの視察、文化などの体験、町内企業や町民の皆さんと意見交換などを行いました。参加した企業からは「当社の技術を活用した事業を検討していきたい」「インターン向けの合宿に利用してみたい」などといった声が寄せられました。



▲にぎわい番所ぷらっとを視察する様子(令和3年撮影)

【令和4年度】首都圏等企業関係構築事業

令和4年度からは、令和3年度の視察交流ツアーで関係を築いた企業と継続した関係の構築に取り組むため、「首都圏等企業関係構築事業」を実施しています。これは、企業のニーズをより詳細に把握し、企業が実証事業や研修などのフィールドとして町を活用する際の支援を行っているものです。本年度は、これまで5社からの要望を受け、町での具体的な活動の調整・実施をしています(内容は3頁参照)。



◎将来的な町への企業移転の実現だけでなく…

企業の技術や知見を生かした共創での地域課題の解決、防災や教育などにおけるデジタル化の推進、関係人口の増加、地域経済の活性化など、さまざまな分野での町の発展が期待されています。

成人講座 ものづくりコース「版画教室」

木版画で温もりあるカレンダー作り

成人講座ものづくりコースでは、版画の中で最も一般的な技法の「木版画」で令和5年のカレンダーを作成しました。

昨年11月14日から12月19日まで全6回、8人が参加し、講師の滝澤徹也さん（元地域おこし協力隊）と大山栗那さん（地域おこし協力隊）の指導を受け、熱心に作成に取り組みました。カレンダーは、年間12カ月の中から受講生が担当の月を決め、自由にデザインした絵を彫って仕上げました。また、日にちの数字はステンシル技法（紙や金属板に切り抜いた図形や文字を刷り出す方法）で、曲線や細かい部分を時間をかけて丁寧にカットして作りました。

干支のウサギや大山祇神社、円満寺観音堂などのテーマで月毎に工夫を凝らした受講生の力作は、風合いのある版画作品に仕上がりました。



1年の無火災を願い、関係機関の連携を確認
無火災祈願祭・消防出初式

今年1年の無火災を祈念する無火災祈願祭（上写真）が、1月8日に熊野神社で行われました。町や町消防団などの関係者が参加し、1年間の無火災を願い、玉串を奉納しました。

その後、会場を移して消防出初式が行われました。この日は町消防団員ら約170人が参加し、野沢中央通りでの閲団式（下写真）を行った後、道の駅にしあいづまで分列行進を行いました。出初式では、渡部晋町消防団長が「この出初式を契機に、防火や地域の安心・安全への意識を高め、消防団活動にまい進してください」と訓示を述べました。



縁起物を求める買い物客でにぎわう
野沢中央通りで野沢初市

毎年恒例の野沢初市が、1月13日に野沢中央通りで開催されました。

昔から「荒れ市」といわれる野沢初市ですが、今年は天候に恵まれ、起き上がり小法師や風車などの縁起物を買求めるお客さんが多く訪れました。また、会場では、午前中から今年1年の商売繁盛などを願う神事や関係者による鏡開き、菓子やみかんなどをまく福まきが行われました。その後も大抽選会や新春大道芸、町商工会による宝船引きなどのイベントのほか、多くの露店が軒を連ね、会場はにぎわいました。



長寿を祝い賀寿を贈呈
井上郁子さんが百寿を迎える

井上郁子さん（徳沢）が昨年12月14日に満100歳の誕生日を迎え、同日に町役場で賀寿贈呈式を行いました。井上さんは当日出席できなかったため、親族の皆さんが代理で出席し、薄町長や荒海清隆町老人クラブ連合会長から賀寿や記念品を受け取って百寿を祝福しました。

西中町民図書館
新刊オススメ本

令和5年より、西会津中学校図書館から「西会津中学校町民図書館」に呼称が変更となりました。これまでも多くの町民の皆さんに利用していただけてきましたが、誰でも利用できることをより周知するために呼称を変更しました。引き続き、読書や勉強などお気軽にご利用ください。



『身近な素材でつくる
かんたん養生酒』
[植木ももこ 著]
PHP 研究所

病院に行くほどではない、ちょっとした不調を感じる時はありませんか。「薬膳」の考えをベースに、果物や木の実に酒を漬けて作る「養生酒」で、不調改善や予防をしましょう。例えば、体が冷えやすく腰痛や関節痛を起こしやすい人には、さくらんぼ酒やしょうが酒がおすすです。ほかにも、みかんは免疫力や疲労回復効果を高め、くるみは老化予防と便秘対策になります。

自分の体質や、不調の内容ごとに食材が紹介されており、みかんやくるみなど身近な食材で始めることができます。割って飲んだり、料理にひと振りなどさまざまな方法で楽しんでみましょう。



『カルトの花嫁』
[冠木 結心 著]
合同出版



『連鎖』
[黒川 博行 著]
中央公論社



『おもひたします』
[あさの あつこ 著]
徳間書店



『教誨』
[柚月 裕子 著]
小学館



申告納税相談日程・会場一覧

月	日	曜日	午前受付	午後受付	会場・受付時間	
2	7	火	向原・下松・弥生	松峯・真ヶ沢・宮野	奥川みらい交流館 午前受付 9時30分～11時 午後受付 1時～3時	
	8	水	杉山・山浦・出戸・小屋	新町・小山・弥平四郎		
	9	木	塩・中ノ沢・極入・小綱木	道目・中町・梨平・大舟沢		
	10	金	予備日 [奥川地区]		申告受付および控室 町役場 3階会議室	
	13	月	呼賀・滝坂	小清水・滑沢・井谷		
	14	火	平明・原	漆窪・新村・樟山		
	15	水	荒木・高目・徳沢	上野尻5・下野尻1・熊沢		
	16	木	上野尻1・柴崎	上野尻2・下野尻3		
	17	金	端村・白坂・屋敷	上野尻3・上野尻6		
	20	月	上野尻4・下野尻2・榎木平	宝川		
	21	火	森野	松尾		
	22	水	尾登・牛尾・泥浮山	山口・程窪・軽沢		
	24	金	小杉山・黒沢	萱本		
	25	土	予備日 [地区指定なし]			申告相談会場 町役場 3階大会議室
	27	月	縄沢・長桜	西林・青坂		
28	火	下小屋・西原	上小島			
3	1	水	3町内	下小島	午前受付 8時30分～11時 午後受付 1時～4時	
	2	木	大久保・中野	2町内		
	3	金	7町内・西平	塩喰・10町内		
	6	月	堀越	4町内		
	7	火	5町内・橋屋	1町内・芹沼		
	8	水	芝草	9町内1		
	9	木	9町内2	安座		
	10	金	8町内	6町内		
	11	土	予備日 [地区指定なし]			
	13	月	八重窪・出ヶ原	牧・西林東		
	14	火	橋立・さゆりが丘	四岐・戸中		
	15	水	予備日 [地区指定なし]			

※各日混雑によりお待たせする場合がございますので、なるべく指定日時での申告にご協力をお願いします。
※午前・午後ともに指定時間内に受け付けを済ませてください。

注意

申告相談に応じることができません。
必要な書類などが無い場合、原則として

申告に必要なもの チェックしてみましょう!

- 給与所得の人は、勤務先から交付された源泉徴収票
 - 事業所得、不動産所得、配当所得、一時所得などの収入金額および経費が分かる書類（帳簿）
 - 農業所得のある人は、農業収入などの経費をまとめた農業所得関係計算書および領収書
 - 諸控除の証明書や領収書、具体的には、生命保険・個人年金控除証明書、建物地震（火災）保険証明書、国民年金の領収書、医療費の領収書・通知書など
 - 税務署から申告のハガキが届いた場合は、そのハガキ
 - 通帳および届出印鑑（所得税の還付が発生することがあるため）
 - マイナンバーカードまたはマイナンバー通知カードおよび本人確認書類（運転免許証など）
 - 【医療費控除を受ける場合のみ】領収書を人と病院・薬局・介護サービスで分けて計算して作成した明細書（明細書を未作成の場合は会場で作成してもらいます）
- 例：野沢 太郎 ○○病院 12,000円 △△病院 5,000円 ☆☆薬局 10,000円

町民税の申告納税相談 Q & A



- Q. 申告期間はいつですか？**
A. 2月7日から3月15日まで自治区ごとに行います。
- Q. 収入がない場合でも、申告は必要ですか？**
A. 令和5年1月1日現在で20歳以上の人であれば、収入がなかったことを申告するか町役場町民税務課までお電話ください。
- Q. 会社で働いていますが、申告の必要はありますか？**
A. 勤務先で年末調整をしていない場合や、複数の勤務先から給与をもらっている場合は申告が必要になります。また、給与以外にも収入がある場合も申告が必要です。
- Q. 年金収入のみの場合でも申告は必要ですか？**
A. 控除漏れなどがなければ申告をする必要はありませんが、町役場町民税務課まで年金収入のみである旨をお電話ください。
- Q. 農業、営業の申告をする際に領収書以外に何が必要ですか？**
A. 帳簿や農業所得関係計算書を作成し、申告会場に持参してください。（農業所得関係計算書は1月に全戸に配布しています）
- Q. 年の途中で転入・転出をした場合はどちらの市町村に申告しますか？**
A. 令和5年1月1日現在の住所地の市町村に申告することになります。
- Q. 指定日時以外の日に申告をすることはできますか？**
A. 事前に電話などで何日を希望したいかを連絡すると対応可能です。

町の申告受け付けは2月7日～3月15日 お済みですか？申告準備

今年も町・県民税の申告、所得税の確定申告の時期を迎えました。町では、2月7日から町・県民税の申告納税相談を行い、令和4年中（昨年1月から12月まで）の申告を受け付けます。申告納税相談は、令和5年度の町・県民税、国民健康保険税などの課税の基礎となる重要な手続きです。忘れずに申告しましょう。



確定申告と町民税の申告

主な給与以外の収入が20万円以下である場合や年金収入が400万円以下で、所得税にかかると確定申告の必要がない場合でも、町民税の申告が必要です。

特に年金は、全ての控除が適用されていない場合があるため注意が必要です。源泉徴収票に記載されている控除以外の控除（扶養・社会保険料など）を申告することで、来年度の町・県民税の負担が軽くなる場合があります。もう一度、年金の源泉徴収票を確認してみましょう。

また、収入がない場合も申告が必要です。申告をしないと「収入がない」ことを把握できないため、未申告者となります。未申告者になると、課税証明書の発行ができなくなり、各種行政サービスを受けることができなくなる恐れがあるため注意してください。

記帳・帳簿の保存

農業を含む個人事業や不動産事業、山林事業などを行うすべての人に、記帳・帳簿書類の保存が必要になります。収入金額や経費を記載した帳簿、受け取った請求書や領収書などを5～7年の一定期間保存する必要があります。

マイナンバーの記載と本人確認

平成28年分以降の所得税などの申告書には、マイナンバーの記載が必要です。また、提出の際には本人確認書類（マイナンバーカードまたはマイナンバー通知カードと運転免許証など）の写しの添付が必要です。

申告に関する問い合わせはこちらまで！
町民税務課
税務係
☎45-2212



皆さんからの温かい善意ありがとうございます 各団体から寄付を受けました

昨年末、町共同募金委員会へ町内の3団体の皆さんより温かい善意の寄付が寄せられました。

12月22日には町仏教会と町老人クラブ連合会の皆さんが訪れ、托鉢で受けた浄財の一部や会員から集まった募金をそれぞれ歳末たすけあい募金として、翌23日には西会津ライオンズクラブの皆さんが寄付金を、町共同募金委員会長の薄町長にそれぞれ手渡しました。



1. 町仏教会
2. 町老人クラブ連合会
3. 西会津ライオンズクラブ

立派な門松で役場来庁者を出迎える 町シルバー人材センターが門松を寄贈

昨年12月28日、町シルバー人材センターの小柴正意理事長と齋藤俊二副理事長が町役場を訪れ、新春を彩る門松一對と町長室用のミニ門松を町に寄贈しました。

今年の門松は下野尻地区で採れた青竹を使い、センター会員の皆さんが約1週間かけて一つ一つ手作りで作成しました。この門松は、町役場のほかにロータスインや道の駅にしあいづにも飾られ、年末から正月にかけて来場者の皆さんを華やかに出迎えました。



▲写真左から齋藤副理事長、薄町長、小柴理事長

町長コラム その30



今年「卯年」、飛躍の年である。これまで準備・検討してきた事業などの結果を出す年になる。

まず、「(仮称)西会津町農業公社の設立」である。町の農業は、担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増大など厳しい環境にある。基幹産業である農業を将来に向けてどのように持続可能にしていけるか、生産者や各種関係団体などを検討会の構成員として話し合ってきた。その結果を昨年12月の議会定例会で説明し、現在、議会においても特別委員会を設置して検討されている。準備が整ってきたので早めに設立していきたい。

次に、「特定地域づくり事業協同組合」の設立である。これは、人口減少や高齢化による地域産業や農業、商工業などの人材不足に対応するための組織である。繁忙期における人手不足の解消だけでなく、若者の地元定着や移住の促進に向け、必要な時期に必要な人材を確保・派遣し、事業者の維持・存続と地域経済の活性化を図るため、本年中に設立する考えである。

このほか、デジタル戦略に基づくまちづくりの進化、町の「米」を核にした新たなプロジェクトの立ち上げ、首都圏などの企業の移転に向けた関係強化、「日本の田舎、西会津町」のブランド強化に向けた基本構想や基本計画の策定と具体的な事業の展開など。最後に、町内からパン屋がなくなつて久しい。現在、道の駅にしあいづで米粉パンを試験的に販売しているが、町の産品を使ったパンなども本格的に販売していきたいと考えている。

西会津町長 薄 友喜

“お米のオリンピック”で西会津産米が高評価 三瓶さんが国際大会で2年連続金賞を受賞

昨年12月2日～3日に長野県で開催された「第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、国際総合部門で三瓶鐵江さん(出戸)のコシヒカリが金賞を受賞しました。今回の国際総合部門には5280点の応募があり、その中で三瓶さんのコシヒカリは昨年から2年連続、通算3度目の金賞を受賞しました。

同月16日に町役場を訪れた三瓶さんは、薄町長に受賞を報告しました。薄町長は「本当に名誉なこと。西会津産米のPRにも大きく貢献していただいている。まだまだ上を目指してほしい」と祝福と称賛の言葉を贈りました。



地域社会の発展と人材育成を目的に連携 福島大学と包括連携協定を締結

町では、国立大学法人福島大学と包括連携に関する協定を締結しました。締結式は昨年12月21日に町役場で行われ、薄町長と三浦浩喜学長が協定書に署名しました。

本協定は、相互の資源を有効に活用した包括的な連携の下、教育・文化・スポーツ、産業振興、地域づくり・集落活性化、社会福祉などの分野において協働活動の推進を図り、地域社会の発展と将来を担う人材育成に寄与することを目的としています。

町と福島大学は、ボランティア活動に係る助言・指導、奥川地区を中心とした集落支援などで以前から連携を図ってきましたが、今後は地域農業の発展や地域課題の解決など新たな連携による取り組みを推進していきます。



各種統計調査員として円滑な調査に尽力 鈴木さんに県統計協会名誉会長表彰を伝達

令和4年度福島県統計協会名誉会長表彰を鈴木洋さん(軽沢)が受賞したことを受け、昨年12月26日に町役場で伝達式が行われました。本表彰は、通算で7年以上、国勢調査などの統計調査業務に従事した指導員または調査員に贈られます。

式では、薄町長が鈴木さんに表彰状を伝達し、「長年にわたる統計調査業務へのご尽力に対し心から感謝を申し上げます」とあいさつしました。





“西会津町消費支援商品券”を配付します

町では、燃料や食料品価格などの高騰による影響を受けている個人消費の支援と町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり5,000円の「西会津町消費支援商品券」を配付します。

西会津町消費支援商品券（見本）



▲青色が地元店舗専用券。3,000円分を配付



▲桃色が共通券。2,000円分を配付

◆商品券について

世帯主宛てに世帯人数分の商品券を送付します。

◆基準日

令和4年12月1日に西会津町に住民票がある人が対象です。12月2日以降に転入、出生した人は対象になりませんので注意してください。

◆配付時期

ゆうパックで1月中旬以降から配付するため、地区や家庭により配付時期が異なります。「近所が届いているのに、まだ自分には届いていない」ということもありますので、あらかじめご了承ください。

◆利用期限について

令和5年3月19日（日）まで

◆利用できる事業所について

- 同封している「西会津町消費支援商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。
- 利用できる事業所などには「西会津町消費支援商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。
- 原則として第4弾までの商品券と同一の事業所で利用できますが、使用できる事業所の一覧を参照ください。今後、追加となる事業所情報については随時ケーブルテレビのデータ放送や町ホームページなどでお知らせします。
- 商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津町商工会に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

◎商品券の取扱全般、取扱事業者について

町商工会 ☎45-3235

◎商品券事業全般、配達関係について

商工観光課 商工観光係 ☎45-2213

風しんの抗体検査・予防接種を受けましょう

2月4日は「風しんの日」です。風しんは感染力が非常に強く、大人が感染すると発熱や発疹、リンパ節の腫れなどが長引きます。また、妊娠中の女性が感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに先天性の病気を引き起こす恐れがあります。特に30〜50代の男性は、風しんワクチンの定期接種の機会がなかったことから、抗体を持つ割合が少なく、予防することが重要です。次に該当する場合は、風しんの抗体検査および予防接種の助成がありますので、積極的に受けましょう。

◆対象者および助成内容

- ① 昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性
- ・抗体検査 無料
- （令和5年3月末まで有効）
- ・予防接種 無料
- （令和7年3月末まで有効）



（二社）西会津ケーブルネット ☎45-4461

〈問い合わせ先〉

◆西会津雪国まつり（2月11日・12日開催）
雪上花火やオーブニングセレモニーを生中継します。

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 2月の放送案内

☎45-4332

〈申請・問い合わせ先〉

・抗体検査および予防接種 自己負担1千円を除く金額
福祉介護課 子育て支援係（子育て支援センター）
☎45-4332

※昨年4月に、無料で受けられるクーポン券を郵送しています。有効期限内の受診をおすすめします。

② 妊娠を希望する女性および同居家族

お知らせ INFORMATION

町長杯健康マージャン大会を初開催！

町公民館では、町民を対象とした「第1回町長杯健康マージャン大会」を開催します。脳の活性化にもつながり、認知症予防にも効果があるとされているマージャンにぜひ参加ください。

◆日時
2月25日（土）
午後1時〜5時

◆会場
町公民館大ホール



◆申込期限
2月16日（木）まで
※参加申込者が24人になり次第締切とします。
※参加申込書は町公民館、奥川支所、新郷連絡所にあります。

◆その他
新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止する場合があります。

〈申込・問い合わせ先〉
町公民館 ☎45-3244



▲ネットからも申し込みができます

有料広告を募集しています

広報にしあいづに掲載する有料広告を募集しています。

◆規格および掲載料
○縦4センチ×横8.5センチ/1枠
○1枠あたり5000円/月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します！

◆募集人数
○農業委員 = 12人
○農地利用最適化推進委員 = 11人

◆募集期間
2月28日（火）まで

◆任期
○農業委員
令和5年7月20日から令和8年7月19日
○農地利用最適化推進委員
任命日から令和8年7月19日

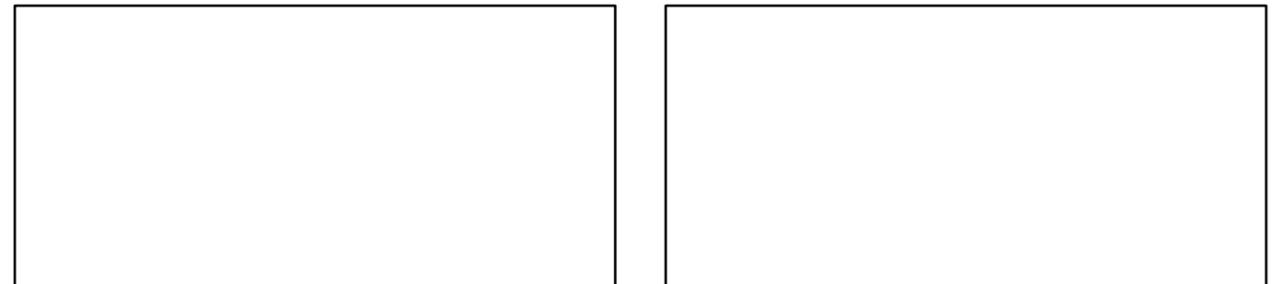
◆募集方法
推薦 = 自治区や農業関係団体・法人による推薦、または農業者3人の連署による推薦
応募 = 自らが委員に応募する方法

◆応募方法
町農業委員会事務局（町役場農林振興課内）で応募用紙と募集要項を用意しています。また、町ホームページからも様式をダウンロードできます。必要事項を記入の上、直接または郵送で町農業委員会事務局へ提出してください。



〈応募・問い合わせ先〉 町農業委員会事務局 ☎45-4531

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。





積雪による農業用パイプハウスの倒壊に注意!

次のことに注意し、積雪によるハウス倒壊を防ぎましょう。

◆**降雪時の対策**

- 補強支柱や筋交いなどを取り付ける
- ハウスから雪が落ちるよう周囲を除雪する(周囲の雪がハウスの肩より高くないようにする)
- 加温設備がある場合は、設定温度を高め、内部カーテンを開放し屋根面を暖め、雪を落ちやすくする
- 加温設備がない場合は、ハウス内の気密性を高め、内部カーテンを開放し地熱を放射する。または簡易加温器具を使用し室温を上げる
- 雪が積もった場合は速やかに雪を下ろし、被覆資材(ポリ)が雪でたるまないようにする(雪が落ちにくくなる)



雪へ散水しない(雪が水で重くなり、倒壊の危険性が高まります)

○急激な積雪により倒壊の危険性がある場合は、被覆資材(ポリ)を左右対称に切り、倒壊を防止する(作業を行う際は落雪や倒壊に十分注意する)

◆**問い合わせ先**

農林振興課 農政係
☎45-4531

農業者年金がさらに便利に!

農業者年金は、より加入しやすく、生活設計に合った年金受給ができるようになってきます。

○若い農業者が加入しやすいよう、35歳未満の人は月額1万円から加入できます。

○年金の受給開始時期を自分で選択できます。

◆**農業者老齢年金**

65歳以上75歳未満の間

◆**【特例付加年金】**

65歳以上(年齢上限なし)

○加入可能年齢が引き上げられ、60歳以上65歳未満の人も加入できます。

◆**申請・問い合わせ先**

町農業委員会事務局
☎45-4531

喜多方税務署から確定申告に関するお知らせ

◆**申告は家からe-Taxで**

自身のスマートフォンやパソコンなどから国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すると、自動計算により確定申告書を作成することができ、また、e-Taxで還付申告書を提出した場合は、3週間程度で還付されます。

◆**申告に関する相談について**

所得税・消費税・贈与税の確定申告に関する質問や相談は「確定申告電話相談センター」を利用ください。

喜多方税務署に電話し、音声ガイダンスに従い「0番」を選択してください。

◆**確定申告書作成会場**

○**開設場所**

喜多方税務署

○**開設日時(平日のみ)**

2月16日(木)～3月15日(水)
午前9時～午後5時

○**注意事項**

①会場への入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券には、会場での当日配付分とLINEによる事前発行分があります。(入場整理券には限りがあるため、後日の来場をお願いすることがあります。)

②会場では、自身のスマートフォンやタブレット端末を使用して申告書を作成します。マイナンバーカードを取得済みの場合は忘れずに持参してください。

③すでに利用者識別番号を持つている場合は、番号(暗証番号を含む)の分かる書類などを持参してください。

◆**問い合わせ先**

喜多方税務署
☎0241-24-5050
(音声ガイダンスに従い、「2番」を選択してください)

◆**さまざまな情報が届きます**

なりすまし詐欺情報、犯罪発生情報、不審者情報、地域安全情報、交通安全情報、防災情報 など

◆**問い合わせ先**

喜多方警察署
☎0241-22-5111
県警察本部 生活安全企画課
☎024-522-2151

◆**メールアドレス**

pmf01@uh28.asp.cuenc.jp

QRコードを読み取り、案内ページの指示に従い登録してください。

POLICE メールふくしま

県警察本部では、県民の皆さんが安全で安心な生活を送るために必要な情報を、パソコンやスマートフォンにメール配信しています。

登録は無料で、左記のQRコードを読み取るか、メールアドレスに空メールを直接送って登録ができます。



☑ 大雪などの気象警報
☑ 緊急地震速報
☑ 地域の停電情報

スマートフォンで防災情報をチェック!



Yahoo! 防災速報アプリ

町では、ヤフー株式会社との災害協定により、「Yahoo! 防災速報アプリ」で緊急情報の配信を行っています。このアプリでは、大雨・大雪などの気象警報や緊急地震速報をはじめ、避難に関する情報なども入手できますので、ぜひダウンロードして活用ください。

スマホでかんたん**防災対策!**

緊急地震速報にも対応!

地域を設定するだけで災害時に通知

画面の例。より詳細な地域を設定することもできます。

▶ App Store

▶ Google Play

東北電力ネットワーク 停電情報

東北電力ネットワーク(株)では、地域ごとの停電戸数や停電理由、復旧見込みなどの情報をスマートフォンアプリやインターネットでお知らせしています。アプリでは、設定した地域の情報が自動で手元に届くので便利です。地域は最大10地域まで設定でき、自宅や職場など用途に応じた活用が可能です。停電への備えや停電時の情報手段として、ぜひダウンロードして活用ください。

列車などの運行状況「どこトレ」

JR東日本が提供している「どこトレ」は、スマートフォンやパソコンから列車などの運行状況が確認できるインターネットサービスで、年間を通して利用できます。

なお、令和4年8月の大雨の影響により、野沢駅から喜多方駅の間は代行バスで輸送しています。詳しくは、JR東日本のホームページを確認するか電話で問い合わせください。

どこトレ

ホームページ

◆**電話での問い合わせ先**

JR東日本お問い合わせセンター
☎050-2016-1600

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆**大きさ** 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆**掲載料** 1枠当たり5,000円/月

◆**問い合わせ先**

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

理学療法士

横谷貴之さんに聞く！

フレイル予防で健康寿命を伸ばそう！

2月1日は「フレイルの日」です。フレイルとは、加齢とともに筋力や活動が低下している状態であり、健康な状態と要介護状態の中間の段階を指します。

今回は、西会津町介護老人保健施設「憩の森」所属で、町の機能訓練事業も担当している理学療法士の横谷貴之さんにフレイル予防について聞きました。



町介護老人保健施設 憩の森
よこや たかゆき
横谷 貴之 理学療法士



健康増進課 健康支援係
さいとう みか
齋藤 美香 保健師長

フレイルの予防はなぜ大事なのですか？

フレイルは「身体的」「心理・精神的」「社会的」な要因が複雑に絡み合いながら状態が悪化していくと考えられ、そのまま放置すると要介護状態になってしまう危険性があります。**早めに自分の状態と向き合い、適切な取り組みを行うことでフレイルの進行を緩やかにし、健康に過ごせていた状態に戻ることも可能となります。**

フレイルを予防するための運動などを教えてください。

フレイル予防は日々の生活習慣と結びついていますので、「身体活動」「栄養」「社会参加」を見直すことで改善を目指せます。中でも、運動の機会を増やしていくことは、「身体活動」の改善に効果的です。運動は、鎌田實先生が紹介する「鎌田式スクワット」「鎌田式かかとおとし」をおすすめします。また、ウォーキングもおすすめです。季節・環境に合わせて取り組んでみましょう。



町民の皆さんへメッセージをお願いします。

フレイル予防のため、特に「身体活動」の改善には、運動習慣を身に付けることが大切です。まずは、**無理なくできる範囲で、運動を始めて続けることが習慣化のコツ**です。ケーブルテレビで毎日放送されている「貯筋運動でさすけねえ輪っ(リニューアル予定)」「棒体操」「こゆりちゃん体操」「ラジオ体操」などの番組を利用していくことも良いと思います。

退職後、町に戻った渡邊さんは、町の健康教室で測定した体の成分でミネラルや筋肉量のバランスが予想よりも悪くてショックを受け、それから野菜を食べるようにし、成果が出てきました。現在は、健康運動推進員として「病気になるってはいられない」と良いプレッシャーが、毎朝の血圧測定、鎌田式体操などの実践につながっています。最近覚えたオカリナをサロンで演奏したり、春から秋は花と野菜を育てて人にあげたり、皆さんに喜んでもらうことが渡邊さんの「つながりの健康」となっているようです。



わたなべ としひろ
渡邊 利廣さん (1町内)

今月のさすけねえ輪っ実践者

集落支援だより

皆さんこんにちは！
地域おこし協力隊の星野です。
今月の集落支援だよりでは、令和4年の振り返りや私の雪国デビューの様子などについてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
ほしの そうすけ
星野 壮祐 隊員

令和4年の振り返り

私が西会津町に来て、早くも8カ月が経ちました。そこで今回は令和4年を振り返って行こうと思います。
春には、武蔵野大学や東京大学の学生と共に奥川地区中町集落の人足に参加し、集落支援拠点施設「結」の管理人としての初めての業務となりました。それから夏、秋と大学との交流が続ぎ、美術大や医療系の学生など学部も多岐にわたりました。活動内容も田植えや稲刈り、集落内の訪問など田舎ならではの内容で、学生たちも楽しそうに参加してくれました。孫世代の



人足の様子

若者との交流を通し、地域住民の皆さんが若返ったように喜ぶ姿が印象的でした。

また、これまで毎年関係を続けてきた福島大学は今年も当町に訪れ集落の調査を行いました。令和3年、令和4年と郵便局に着目した調査を行ってきた福島大学行政政策学類の学生たちは、調査結果をまとめて11月に奥川支所で発表会を行いました。



調査結果の発表会

大学生と地域の皆さんが、西会津町の未来について一緒に考える貴重な機会であり、私個人にとってもいろいろな気づきのある素敵な発表会でした。

初めて大雪体験

郡山市で生まれ育った私は、靴が埋まるような積雪をほとんど経験したことがありませんでした。そんな中で、西会津町に移住して初めての冬、昨年12月中旬のいきなり的大雪に驚きました。



雪が積もった集落支援拠点施設「結」

長靴でさえ埋まるほどの積雪で雪かきは大変でしたが、別の国に来たようで、日常のちよつとした出来事が新鮮で刺激的に思えます。あえて冬に期待する大学生も多いことから、この雪をどう活用して楽しむかを考えるようになりました。

令和5年を迎えて

令和4年は町内の各種イベントや外部の大学生との交流など怒涛の1年でした。その中で多くの経験・地域を育むことができた「育」の年でした。罨の狩猟免許や野菜ソムリエなど、資格の取得にも力を入れることができ、僅かではありますがありますがスキルアップできたと思っています。
令和5年は年明け早々から大学生の受け入れを予定しています。集落にとって地域活性化の一つのカギとなる「若い力」達を一人でも多くリピーターにするために尽力したいと思っています。

現在の大学生の受け入れは奥川地区での活動が中心となっていますが、少しずつ少しずつ、他の地区にも学生の若い力を生かせる場所を拡大していきたいと思っています。微力ではありますが、西会津町を少しでもハッピーな町にできるように努めていきたいと思っております。今年もどうぞよろしく申し上げます。

戸籍の窓口

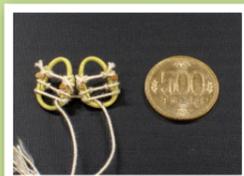
(12月受付分)

■ まちの人口

	1月1日現在	(前月比)
人口	5,694人	(-18人)
男	2,783人	(-4人)
女	2,911人	(-14人)
世帯	2,528世帯	(-4世帯)

■ お悔やみ申し上げます

伊藤 カオル (82)	清隆	母	1町内
岩原 昭夫 (83)	宏	父	5町内
野口 圭一 (77)	真利	父	5町内
高梨 弘子 (86)	一博	母	6町内
清野 正 (98)	聡	父	堀越
清野 信夫 (91)	一也	父	大久保
田崎 ミヨ子 (91)	昭則	母	黒沢
佐藤 キミエ (84)	賢一	母	出ヶ原
伊藤 アヤ子 (90)	祐介	母	徳沢
佐藤 ツヤ子 (88)	勇一	母	徳沢
伊藤 榮 (99)	繁	父	平明



安座・西田春喜さん作のミニチュアかんじぎ。小さいものは500円玉程度の大きさです。

Dream

聞いて！わたしの夢



[西会津中1年・文化部 部長]

いしい ここの
石井 心壱 さん

◆私の夢——

私の将来の夢は、グルーマー(ペットショップなどでペットの手入れをする仕事)になることです。きっかけは、小さい頃から動物が好きで、動物に関わることができる職業を調べていくうちに、グルーマーに興味を持ったからです。

◆努力していること——

自宅でペットを飼っているのので、世話をしたり必要な知識を調べたりしています。まずはその道に進めるように、今、目の前にあることに一生懸命取り組み、自分が思い描く将来へ近づいていけるように頑張っています。

◆未来の自分に一言——

充実した毎日を過ごせていますか？自分と関わっている人たちが笑顔でいられるように、心を大切に素敵な道を歩んでください。
「一笑懸命」、何があっても負けずに頑張っていこう！

Person

町民バトンタッチ

わたなべ すみこ
渡部 澄子 さん [4町内]

◆趣味は？

畑いじり、ヨガ

◆特技は？

草むしり

◆熱中していることは？

クラフトテープでのものづくり、保護ネコ育て

◆自分を一言で表現すると？

あわてんぼう

◆あなたのモットーは？

今に集中、前進

◆最近感動したことは？

出ヶ原和紙の紙漉き。その作業の大変さに驚いたが、自分の漉いた和紙が出来上がった時は感動した。

◆これからやりたいことは？

スイスのアルプス山脈を眺めながらハイキングすること

◆次の方を紹介してください

T・Hさん



とっておきの物は？

11体の天神様。以前、法事の準備で蔵に入った時に偶然見つけました。それぞれ良いお顔で、中には笑っている天神様もあり、私も嬉しくて笑ってしまいました。



須藤 富子 さん(1月号)からメッセージ

お互いに明るく陽気に生きていきましょう。



Column

協力隊リレーコラム

今年度いっぱい地域おこし協力隊も卒業になり、最近は今後の活動の仕方について考える機会が多くなりました。

4月からは、協力隊と並行して進めている設計事務所の仕事をさらに本腰を入れてやっていくのと同時に、町内の工務店を継ぐことを目標に施工の仕事を増やしていくことに力を入れ、より西会津での仕事を増やしていければと思います。

最近の嬉しい出来事としては、自宅に薪ストーブを設置したことです。去年の夏から木材を集め、せっせと薪割りをした努力が実を結びました。暖を取るだけでなく、お湯を沸かすことや調理もできるのでとても感動しています。おいしいピザを焼くことを目標に生地作りから頑張ろうと思います。

協力隊卒業後も西会津で生活していますので、今後ともよろしく願っています！

協力隊卒業に向けて



さとう ゆうた
佐藤 雄太 隊員

設計事務所合同会社あしたのアーキテツ代表。建築設計から施工、シェアハウスの運営などを行い、協力隊としては、木材・古材の活用を行っている。

松尾館跡と宇多河氏

松尾集落の東、菅原神社の裏手に「松尾館跡」があります。「館跡」とは、主に鎌倉時代から戦国時代に作られた敵の侵入を防ぐことを目的に堀や土を盛り上げて築いた土塁などを備えた防御のための施設で、平地にある場合はその土地を治めていた人が住む屋敷になっていた場合があります。松尾館跡の大きさは東西約52m、南北約50mで、北側は松尾川に面した急崖になっています。この館跡には幅約2mの浅い空堀や、高さ約1m、幅約2mの土塁が残されているほか、南側と西側には出入口である虎



松尾館跡に残る土塁(左)と空堀(中央)

口が設けられ、空堀を渡るための土橋などの遺構も確認できます。

また、松尾館跡は宇多河(川)氏が住んでいたので、「宇多河館跡」とも呼ばれています。宇多河氏はもともと山城国葛野郡宇多野(現在の京都市)を本拠としていた豪族で、松尾神社を崇敬していました。故あって関東に下って鎌倉幕府の御家人となり、芦名氏との関係から会津・松尾の地頭になったものと考えられます。この館跡の近くにある真福寺は文永5年(1268)、宇多河信濃守道忠によって鎌倉

五山寿福寺の僧慈心とともに中興され、この寺の福島県指定重要文化財「木造地藏菩薩坐像」は道忠の発願によって康安2年(1362)に作られたものになります。ただし、真福寺中興と仏像製作には94年の開きがあるため、道忠が両方の出来事に関わっていたかは疑問です。

やがて松尾館には、宇多河氏の子孫である長谷川氏が住むようになります。「奥州会津川沼郡稲川庄松尾村松尾山真福寺縁起」によると、天正17年(1589)、伊達政宗の会津侵攻により真福寺は焼失、松尾館も落ち、長谷川氏は散り散りになってしまい、翌18年に蒲生氏郷が会津領主になると野に下った、との記録があります。その後、子孫の久七が天和3年(1683)に野沢組郷頭となり、江戸時代の一時期を除いて長谷川氏が代々、この職を務めることとなります。

今月の表紙

今月は、令和5年消防出初式の分列行進から。当日は時折小雨が降る中での実施でしたが、同気食堂前の交差点から道の駅にしあいづまで分団ごとに堂々と行進しました。

(6ページに関連記事)

編集後記

携帯電話やインターネットの普及によって浸透してきたQRコード。携帯電話などの専用アプリやカメラ機能で読み取るだけで、指定のウェブページにアクセスできるほか、近年では電子決済にも活用されています。

携帯電話を持つのが当たり前になった時代、広報にしあいづでも主にお知らせのページで積極的にQRコードを活用しています。引き続き、読者の皆さんに有益な情報をお伝えできるよう活用していきますので、スマートフォンを片手に広報紙を読んでみてください。(秦)